



Juntos!!中南米対日理解促進プログラム
～オンライン訪日プログラム～（テーマ：伝統文化と文化の継承）の記録

1. 概要

【目的】過去に Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムに参加した同窓生が、日本が、国内及び世界各国で実施してきた有形文化遺産の保全・修復の取り組みを学ぶことで、自国の文化遺産の保全に応用できるアイデアを得ることを主目的に実施しました。

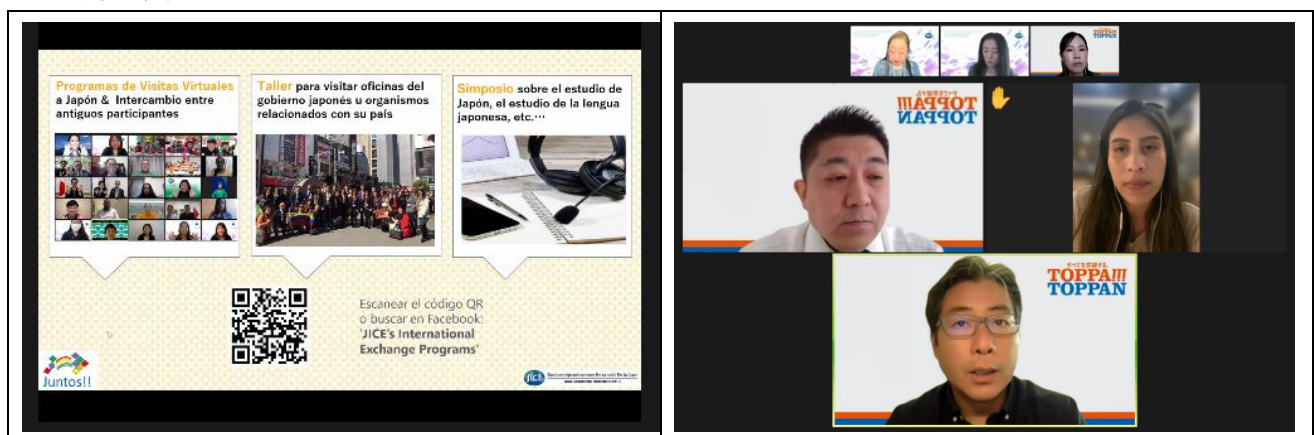
【参加者】 Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムの同窓生(2015 年度～2021 年度の参加者) (エクアドル、グアテマラ、パラグアイの専門学校生、大学生、オンライン訪日経験者を含む) 3 名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応 (参加人数)
1 日目 2022 年 10 月 19 日	<p>【オリエンテーション】【ワークショップ】</p> <p>① 挨拶</p> <p>② Juntos!!プログラムの概要説明</p> <p>③ グループ別プログラム（自己紹介と担当決め）1グループ</p> <p>④ 記念撮影</p>	<p>オリエンテーションでは、4 日間の本プログラムの目的を始め、今後の予定や、最終日に発表する成果物の説明が行われました。和やかな雰囲気の中、積極的に意見を交換し、これからのプログラムに期待している様子でした。(3 名)</p>
2 日目 2022 年 10 月 20 日 東京都	<p>【テーマ関連講義・質疑応答・意見交換】</p> <p>凸版印刷株式会社</p> <p>① 講義 「トッパンの文化事業のご紹介～文化のデジタル化を通じた、社会への貢献～」 講師：凸版印刷株式会社 文化推進本部主任 山内 礼加氏</p> <p>② 質疑応答</p> <p>③ 参加者と凸版印刷社員による意見交換 凸版印刷株式会社 文化推進本部 課長 矢澤 英孝氏、同部課長 中村 友氏、同部主任 山内 礼加氏</p>	<p>講義では、蓄積された印刷技術と最新のデジタル技術を駆使して、文化遺産をデジタルアーカイブして未来へ継承する最先端の取り組みが紹介されました。意見交換では、「デジタル技術が観光ツールとしての利用に関心がある」「デジタル技術を用いた 3Dmax を使用して建築モデルを再現できる方法を学び、中南米地域にある有形文化遺産の継承につなげたい」等の意見がありました。(3 名)</p>

	④ 講義を受けて意見交換会	
3 日目 2022 年 10 月 21 日 東京都	<p>【日本文化体験・質疑応答・意見交換】 生け花について</p> <p>① 講義 「生け花について」 ・歴史 ・種類 ・華道家の仕事 ・海外交流 講師：古流東洋会 副家元 宮本 理城氏</p> <p>② 古流東洋会水墨花点前の生け花実演 ③ 参加者の生け花体験ワークショップ ④ 講評、質疑応答、意見交換 ⑤ 講義を受けて意見交換会</p>	<p>参加者は、今まで耳にしたことしかなかった「生け花」を講義で学び、体験し手ほどきを受けたことに感動していました。参加者は、この感動を忘れないようにするため、今後の日常生活に生け花を取り入れたり、作品を SNS で発信したりして、日本文化の一つである「生け花」を広めたい等の意見がありました。</p> <p>質疑応答では、講師の着物や生け花歴等を問う質問がありました。(3名)</p>
4 日目 2022 年 10 月 22 日	<p>【ワークショップ】【報告会】</p> <p>① グループディスカッション テーマ ・プログラム参加前のテーマに関する知識や活動（自国における文化保全活動の事前知識や個人的な活動知見の有無） ・プログラム中の学びや発見（日本文化及び文化保全活動についての新たな発見） ・広めたい日本文化とその魅力</p> <p>② グループ発表（1グループ） ③ 講評 ④ 記念撮影</p>	<p>ワークショップでは、プログラムの学びや気づきをまとめ、今後の活動について報告会用資料を作成しました。</p> <p>報告会では、参加者各自が自国の文化遺産についての事前知識を述べ、本プログラムでの学びをそれらの遺産の継承にどのように生かせるかについて考察したことを発表しました。(3名)</p>

2. 記録写真



2022年10月19日【オリエンテーション】	2022年10月20日【テーマ関連講義・質疑応答・意見交換】意見交換の様子
	
2022年10月21日【日本文化体験・質疑応答・意見交換】講師生け花作品の紹介	2022年10月21日【日本文化体験・質疑応答・意見交換】生け花体験の様子
	
2022年10月22日【報告会】報告会の様子	2022年10月22日【報告会】記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ グアテマラ 高校生

主催者側の声掛けなどおもてなしが大変良く、サポートいただき大満足です。

◆ パラグアイ 専門学校生

テーマの設定からプログラムの内容まで大変気に入りました。各講師や他の参加者との交流を図ることができたことは大きな収穫だったと思います。

◆ エクアドル 専門学校生

お花などの材料を使った生け花ワークショップが開催され、参加者が積極的に参加できた点が大変良かったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

翻訳者の方がとても適切につないでくださり、スムーズに講義ができました。

5. 報告会での参加者の発表（抜粋）

■ テーマ「日本の伝統文化とその継承」



1. プログラムに参加する前のテーマに関連する知識や活動

- ・様々な国からの移民から成ることから、コスモポリタンな国と言われています。
- ・歴史的に古い地区の保存状態が良く、教会や修道院などの有形遺産に関する博物館があり、これらの建造物の保護と保全は非常に大切です。
- ・様々な民族が共存する多文化国家と言われています。

2. プログラムで得た新たな学び、気づき

最先端のバーチャルリアリティのデジタル技術がとても興味深かったです。また、海外からの観光客が多く訪れる博物館などにも適していることを知りました。3D映像技術の発展は、江戸時代や、はたまたインカ帝国時代を生きた人々の文化や生活様式、考え方までを知ることができるようになります。古代や現代都市を3Dで再現することでその文化をより細かい箇所まで把握できるので、各時代の都市に対する理解を深め易くなります。中南米地域でも活用できたら非常に面白いと思います。

3. 広めたい日本文化とその魅力

学んだ生け花をSNSを通じて発信します。また、日本国内にある体験型博物館を検索して、日本文化についてさらに学びたいと思います。また、3D max（3次元コンピュータグラフィックス作成ソフトウェア）を学ぶことで3Dで建築を再現し、将来的には、中南米地域の有形文化遺産を研究し、共有することが可能になると思います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）